

あこがれのたより

12月

発行責任者 堤 敏博

【校長室より】

「修学旅行～自立へ向かう旅」

校長 堤 敏博

12月3日（月）～7日（金）に実施した修学旅行は、生徒にとって、世界を広げ、自己の将来を考え「自立へ向かう旅」となりました。本年度の修学旅行の目的は、以下の4つです。

- (1) 五島を離れ、様々な施設や職業人にふれることで、進路開拓の視野を広げる。
- (2) 健康・安全を第一に、周囲を思いやり、責任と秩序ある行動で実り多い旅行にする。
- (3) 生徒自身で計画・準備を行い、現地では自主的に活動することで、自ら考える力を身につける。
- (4) 生徒相互および教師と生徒の信頼関係を、これまで以上に深める。

この4つの目標を踏まえ、11月30日の修学旅行結団式において、生徒に「それぞれの体調をそれぞれが管理すること」と「非日常を楽しみながら学ぶこと」の二点をお願いしました。

本年度の修学旅行の特色は、本校で実施している総合的な学習の時間「バラモンプラン」や進路学習との連携の強化を図ったことです。11月7日に実施した「バラモンプラン発表会」では、普通科のテーマ別にクラスを超えて編成した全ての班が、自分たちで探究した五島が抱える課題とその解決策について、プレゼンテーションやポスターセッションの形式で発表しました。そこでは、内外の関係者からはその課題意識の深さと取組の具体性について高い評価をいただきました。また、衛生看護科では、10月に戴帽式を終え「臨地看護実習」がスタートしています。進路意識が高まっているこの時期に、これまでの修学旅行で半日（衛生看護科は1日）だった企業や関係機関への訪問を2日間に、各生徒の訪問場所は1カ所から4カ所（衛生看護科は3カ所）に拡大しました。特に3日目の「ジョブtavi」という新たに設定したプログラムでは、ホテルで社会人としてのマナーを学び、バラモンプランで編成した班で職場や関係機関の一線で活躍している方々の話を聞いたりこれまで取り組んできた取組についての意見交換をしたりするなど、とても有意義なひとときであったようです。生徒は、この2日間の取組を通して、自分の将来を見渡す広い視野を獲得してくれたと思います。

このような機会を支えていただいた各事業所や関係機関の方々には深くお礼を申し上げます。特に、職場訪問では、本校OBで東京石城会でもご活躍いただいている高栄警備保障様、ヤマト徽章様、第一高周波様にはたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

修学旅行初日に東京スカイツリーから見えた夜景の素晴らしさと4日目の東京ディズニーランドでの数々のアトラクションも日常から脱した経験として大きな思い出になったことと思います。今回の修学旅行が、生徒が後から振り返って「自立へ向かう旅」となることを祈念しつつ、2年生の今後の活躍を期待しています。



2学年修学旅行を終えて

2学年主任 渡辺 洋平

2学年は、12月3日(月)から7日(金)の4泊5日の日程で、修学旅行に行ってきました。1日目は、朝8:00のフェリーで福江港を出発しました。スカイツリーでは大都会の夜景に全員が感動していました。

2日目は、クラス別研修。博物館や大学、テレビ局など、生徒たちが考えた研修先へ各クラスで向かいました。班別行動では、原宿や渋谷などで都会の雰囲気を楽しんだ生徒も多かったようです。五島では見ることでできない高層ビルに圧倒されました。

3日目は、コース別研修。普通科の生徒は、バラモンプランの研究内容に合わせた会社を訪問し、社会人の方と交流をしました。衛生看護科の生徒は、板橋中央病院を訪問し、都会の医療現場を見学してもらいました。自分の将来について真剣に考える生徒が多かったようです。



4日目は、午前中が国会議事堂、午後がディズニーランドへ行きました。この日をいちばん楽しみにしていた生徒も多く、「夢の国」を存分に満喫したようです。大きなおみやげ袋を持って帰りました。

5日目は、五島に帰る日です。最終日はとても寒くなりましたが、大きな日程変更もなく、全員が無事に五島に帰って来れました。

最後になりましたが、保護者の皆様やJTBの方々、この旅行で私たちを支えてくれたすべての人たちに感謝しています。本当にありがとうございました。

生徒の声

「ジョブtavi」は、現在自分たちがバラモンプランで行っている研究について、新たな意見をもらったり、考えを深められるいい機会でした。自分自身が知りたいことについては質問できましたが、社会人さんからの質問についてはうまく答えられなかったり、場をコントロールできず、気まづくなってしまいました。大人を相手にしてのビジネスマナーや一般常識なども学ばなければならないと痛感しました。



今回の旅行で、私の最大の失敗は、ホテルのドアがオートロックだったため締め出されてしまったことだ。事前に先生方からも十分注意されていたにも関わらず、2回も鍵を閉じ込めてしまった。目の前の楽しいことに頭がいっぱいで、注意力が落ちていたのだと思う。周りの状況や、先のことを見越して行動できる人間にならなければと思った。



修学旅行では「仕事の成り立ち」を感じることができた。社会人の方の話から、仕事があまく行かないときに重要なことは、

- ①何かしらの対策を打つ前に目的をきちんと定めておくこと
- ②その目的に対してとにかく努力を続けること

だということを学んだ。これからは失敗を悔んだり、落ち込んだりする前に、とにかく行動し続けようと思う。

九州・全国でも大活躍

第2回 全九州高等学校総合文化祭 鹿児島大会 美術・工芸部門 九州高等学校 文化連盟賞 佐々野 優香

平成30年度 長崎県高等学校総合文化祭【写真部門】 最優秀賞 中村 信太郎(次年度全国総文祭に出場)

平成30年度 長崎県高等学校総合文化祭【新聞部門】 優秀賞(次年度全国総文祭に出場)

第4回 全国ユース環境活動発表大会 九州大会1位(来年2月に全国大会出場)

アサヒ若武者育成塾成果発表会 最優秀賞

(第12回キャリア教育優良教育委員会 学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰にて学校の部で表彰)

【スポーツコース】 乗馬・ゴルフ実習

9月～10月にかけて乗馬実習、11月～1月にかけてゴルフ実習を行います。これにはスポーツコース3年生の生徒18名が参加します。毎年、乗馬実習は、五島自動車学校様、ゴルフ実習は五島カントリークラブ様のご厚意により実施させていただいております。乗馬実習では馬事管理部長の原様のご指導のもと、正しい乗馬の姿勢や方法、また馬のお世話等、教えていただきました。ゴルフ実習では支配人の今村様のご指導のもと、ゴルフクラブの握り方からご指導いただきました。1月にはラウンド練習を行う予定です。これをきっかけに、生涯スポーツの1つにすることができればと思っています。ご協力いただきました五島自動車学校様、五島カントリークラブ様にお礼を申し上げます。



芸術科学習発表会

12月14日(金)本校メモリアルホールにおいて、1年生の芸術科学習発表会を行いました。音楽選択者はクラス合唱や学年全体での合唱を披露しました。発表会までの準備期間は2学期期末考査を含む一ヶ月と短く、少ない授業数の中でどのクラスも大変苦労しながら練習に取り組みました。当日は、今まで練習したことを発揮し、クラス一丸となって堂々と発表を行うことができました。芸術の授業は音楽と美術の2科目から選択するため、クラスによって男女の人数の差があったり、ポップスの合唱でリズムが難しかったりしましたが、歌詞の内容からクラスでイメージを共有し、表現を工夫することによって、声量バランスを克服することができました。音楽選択者は今回の芸術科学習発表会を通じて、自分の声と他人の声に関心を持ち、お互いの相違点を見つけ、より良い表現を追求していく姿勢を学びました。美術選択者は『人物画』、『風景画』というテーマのもと、2階会議室・調理室の前で作品展示を行いました。3クラス合わせて34名という少ない人数ですが、全生徒の全作品を展示しました。『人物画』の自画像デッサンでは、1枚目から2枚目の作品を通して生徒の成長が見られ、『風景画』では、水彩絵具で描かれた五島高校や五島の風景に、新たな魅力を感じられたのではないかと思います。普段は交流のない音楽選択者と美術選択者ですが、今回の発表会で双方共に芸術的感性を磨き、今後の人生をより豊かなものにしてほしいと願っています。



陸上部 上位大会

五島高校陸上部は、10月に2つの全国大会と1つ九州大会に出場してきました。まず、10月5(金)～9日(火)に福井県で行われた「2018福井しあわせ元気国体」に2名の選手が長崎県の代表として出場してきました。次に、10月11日(木)～14日(土)大分県で行われた、「平成30年度全九州高等学校新人陸上競技大会」に11名の選手が出場してきました。この大会は、9月に行われた長崎県の新人戦で上位3名のみが出場できる試合です。また、10月19日(金)～21日(日)に愛知県で行われた「U-20日本陸上競技選手権大会」に2名の選手が出場しました。この大会は、大学生も含めた20歳以下の全国大会です。この3つの大会の中で、3年6組の里中彩華さん(砲丸投)が自身初の全国入賞を果たしました。また、2年6組の平野鈴葉さん(砲丸投)は九州大会で3位入賞を果たしました。陸上競技は一瞬の輝きのために1年間かけて準備をする競技です。競技歴が長くなると、自己新記録を出すのが簡単ではなくなります。だからこそ、精神的に辛いことも多くありますが、たくさんの応援のもと日々楽しく活動することができています。ありがとうございます。

【結果一覧】※B決勝とは9位～18位です。

●第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体(福井県)

400mH	後藤 颯汰	予選2組3着	52.56	予選敗退
砲丸投	里中 彩華	決勝11位	12m93	
円盤投	里中 彩華	決勝9位	39m68	

●平成30年度全九州高等学校体育大会

第36回全九州高等学校新人陸上競技大会(大分県)

砲丸投	平野 鈴葉	決勝3位	11m59
110mH	小島 一斗	予選1組4着	15.66(B決勝15.52 3着)
三段跳	角野実夏人	決勝10位	13m73
100m	高木 里菜	予選3組3着	12.75(B決勝12.68 3着)
砲丸投	峰原 舞	決勝19位	9m76
円盤投	峰原 舞	決勝16位	31m08
ハンマー投	平野 鈴葉	決勝22位	19m55
4×400mR	久 智菜美 高木 里菜 奥野 夏美 井関 亜美		4:09.34 3組5着 予選敗退

●第34回U20日本陸上競技選手権大会(愛知県)

U20男子400mH	後藤 颯汰	予選1組3着	B決勝進出	52.82
			B準決勝7着	55.19
U20女子砲丸投	里中 彩華	決勝8位		13m28

【衛生看護科】

施設実習

6日間、後期施設実習を行ってきました。初日は緊張した表情でしたが、食事、排泄、入浴などの日常生活の援助を行うに連れ、利用者様と打ち解け徐々に距離を縮めることができました。実習最終日には、利用者様が顔を近くに寄せ、「ありがとうね」と生徒に声を掛けて下さる姿が印象的でした。多くの援助を通して成長した面、そして今後の課題も見えてきた実習となりました。実習を快く受け入れて頂きました施設の皆様にご感謝申し上げます。

